

華 備

や

か

な

日

本

刀

前

一

Bizen-Ichimonji

文

字

2008.2.23 sat ▶ 3.30 sun

開館時間／午前9時～午後5時

(入館受付は、午後4時30分まで)月曜日休館

入館料／一般・大学生 800円 高校生 600円

小・中学生無料 団体(20名以上)2割引

※2月23日のみ昼12時開館

主催／林原美術館・佐野美術館・大倉集古館・徳川美術館

日本経済新聞社

後援／山陽新聞社・読売新聞社大阪本社・朝日新聞社岡山総局

毎日新聞社岡山支局・中国新聞社備後本社・NHK岡山放送局

RSK山陽放送・RNC西日本放送・TSCテレビせとうち・OHK岡山放送

KSB瀬戸内海放送・oniビジョン・岡山県教育委員会

岡山市教育委員会・岡山県郷土文化財団

(財)日本美術刀剣保存協会・全日本刀匠会 中国四国地方支部

林原美術館

〒700-0823 岡山県岡山市丸の内2-7-15

Tel:086-223-1733 Fax:086-226-3089

http://www.hayashibara-museumofart.jp

国宝 太刀 銘 吉房(部分) 個人蔵

華やかな日本刀

備前一文字

Bizen-Ichimonji



葵紋蒔絵糸巻太刀拵

備前国(岡山県)一文字派は、日本刀の中でももっとも華やかな作風で知られます。

鎌倉時代初期、同派には名工が揃い、気品高い優雅な曲線の太刀を作りました。

後鳥羽院(1180-1239)は、名工を御番鍛冶として月番で院中に集め、備前一文字派からは正月の則宗を初め七名も選ばれました。鍛造された太刀には菊紋が入れられ、「菊一文字」とも呼ばれました。承久の乱(1221)によって、後鳥羽院が隠岐に流された後、一文字派は北条氏の庇護により更なる発展を遂げました。史上初めて政(まつりごと)を担う鎌倉武士の質実剛健の気風を受けて、華やかな拵えを慎む一方、中身の刀身の質を高め、鍛錬によって比類ない鉄の文化を築きました。吉房・助真・助光などによる、力強い曲線の豪壮な姿に華麗な刃文の太刀です。

王朝文化の香りを残す御番鍛冶と、鎌倉文化の頂点をなす一文字派の名工の技を堪能していただきたいと思います。

主な出品作品

- 国宝 太刀 銘 一(上杉太刀)東京国立博物館
- 国宝 太刀 銘 吉房 林原美術館蔵
- 国宝 太刀 銘 則房 個人蔵
- 重要文化財 刀 無銘一文字(名物南泉一文字)徳川美術館蔵
- 重要文化財 刀 無銘吉岡一文字 佐野美術館蔵
- 重要文化財 太刀 銘 助真 三井記念美術館蔵
- 重要文化財 太刀 菊御作 京都国立博物館蔵
- 重要文化財 太刀 菊御作 林原美術館蔵
- 太刀 銘 助宗 東京国立博物館蔵
- 太刀 銘 信包 付葵紋蒔絵糸巻太刀拵 個人蔵

等、国宝7点、重要文化財18点を含む備前一文字派の名品約50点。会期中展示替えを行います。

ワークショップ

『小刀製作』

日時：平成20年3月1日(土)・2日(日)

両日とも午前10時～

場所：(株)林原 桑野刀剣鍛錬道場

対象：大人

定員：両日とも5名(要予約)

申込先：(株)林原美術館

参加費：20,000円

『親子銘切り』

日時：平成20年3月8日(土) 午前10時～

講師：大野義光刀匠

場所：(株)林原 桑野刀剣鍛錬道場

対象：小学校高学年～中学生と保護者の方

定員：10組20名(要予約)

参加費：無料

ギャラリートーク

日時：会期中土曜日(3月8日を除く)午後2時～

入館券をお求めの上、展示室入口にお集りください。

※申込不要

※聴講無料



重要文化財 刀 無銘一文字(名物南泉一文字)

国宝 太刀 銘 一(上杉太刀)

林原美術館

〒700-0823 岡山市丸の内2-7-15

2-7-15 MARUNOUCHI, OKAYAMA JAPAN 700-0823

TEL:086-223-1733 FAX:086-226-3089

E-mail:bijutsukan@hayashibara-museumofart.jp

URL:http://www.hayashibara-museumofart.jp

交通案内

JR岡山駅から徒歩25分

路面電車 [東山行]県庁通下車徒歩7分

バス 県庁前下車徒歩3分

